

福島県議会議員

まさゆき

てしがわら正之



森林・林活議連現地調査

2018.8.3



南会津町は、森林整備で発生する間伐材のウェットチップが燃焼できる国産のボイラーを平成23年に導入し、暖房や温泉の加温に利用している。

購入費5500万円の半分は国の補助。従来の灯油ボイラー

を補助として使用するが、地元のチップを購入し、年間380万円以上の支出を削減。10年以内で元手をとる。杉でも松でもOK。豊富な間伐材の出る地域では、参考となる画期的な取り組みだ。



福島県南会津町「山口温泉きらら289」



県外調査

2018.7.26



議会運営委員会の県外調査を行った。

24日に福岡県議会、25日は大分県議会、今日は愛媛県議会の事務局長から議会運営や議会改革の取り組みなどについて、話を聞いた。

特に愛媛県は、この度の西日本豪雨により、26名という多くの方々が亡くなられた。復興事業の邪魔にならないよう、必要な事項だけをお聞きし、早々に用務をすませた。



愛媛県議事堂
スポーツ文教警察委員会室



人生100年時代を生きる

2018.7.21

日本人の平均寿命は、女子が世界第二位の87.26歳、男子は第三位で81.09歳。

昭和44年にテレビ放送が始まった「サザエさん」の磯野波平さんの年齢設定は54歳。

現在の高齢者の身体機能や知的能力は、10年前と比較

しま未来政治



郡山ビューホテル

して5～10歳は若返っていると言います。

今日は、人生100年時代戦略本部の事務局長代行の木原誠二代議士から話を聞いた。

健康で100年生きるための社会づくりと同時に、人生100年時代に相応した年金制度や社会保険制度を、早急に検討すべきだ。



原発事故の教訓

2018.6.26

今年3回目となる議員勉強会が開催された。

講師は、県立医科大学山下俊一副学長。

先生は、放射線災害医療の第一人者であり、震災直後から2年間放射線リスクコミュニケーションや県民健康調査事業に携わった。

原子力立国であり続ける限り、政府は国民と共に地震立国であることを肝に銘じ、災害時の備えと同時に惨禍に見舞われた後の備えも多重防護の原則から再考する必要



福島県議会第一特別委員会室

があり、政府の見解や指示を客観的中立的に公平無私に評価し、真に国民の信を問える新たな規制機関の設置が必要ではないかと話した。

福島県議会議員

まさゆき

てしがわら正之



土木委員会現地調査

2018.7.3



相馬市の沿岸部は高さ9Mを超える津波が押し寄せ、海岸堤防の大部分が破堤し、400名を超える尊い命が失われ、約1800棟の住宅が全半壊するなど、甚大な被害を受けた。

被災から7年をかけ平成30年3月に事業が完了した。

震災直後の跡形もない状況からの見事な復興だ。



相馬市大浜地区海岸



四條流包丁式

2018.5.27

包丁式は、日本各地の神社や日本料理の業界などの奉納や祝い事などの儀式的時に執り行われる厳粛な儀式。



ホテルハマツ

今日は郡山調理師新生会70周年記念祝賀会に先立ち行われた。

起源は平安時代初期。本日は、お祝いの式題として「龍門の鯉」が行われた。

歴史ある伝統儀式に、とても感動した。



公開訓練に参加

2018.5.21



郡山女子大付属高校

水中ドローンの公開訓練が、郡山女子大付属高校の野外プールで行われた。

プールは、震災後使用されず、防災用水として水を溜めていたので、自然のため池状態。水中ドローンの機動性とモニター画面を見させてもらったが問題なく、新たな分野での活用が期待できると感じた。



6月県議会政調会

2018.5.25

県産品の輸出は、昨年度の農産物輸出量210トンを超え、過去最高を達成した。

今年度は、復興・創生期間の折り返しとなる3年目の重要な年。県産品の販路拡大や観光誘客、教育旅行の更なる回復、本県の新たなイメージの創出に向けて、全力で取り組まなければならない。



県庁第一特別委員会室



水中ドローン

2018.5.15

4月に日本国内正規品として登録された水中ドローン「グラディウス」。秒速2mで疾走し、内臓バッテリーで120分稼働。本体をつなぐ通信ケーブルで水平操作半



(株)スペースワン

径は100m、最大深度も100m。

ダムの壁面調査、水難事故調査ばかりでなく、趣味分野でも、事前漁場チェック、遺失物の検索などで使われ、各種センサーを活用すれば、近い将来、水中ドローンは「水中を泳ぐスマホ」になるかもしれない。